

令和4年度予算について



星 雅人 議員

**質問**…2010年の大田原市長選挙以降、津久井市長が掲げ続けてきたマニフェストと令和4年度予算の関係を伺います。  
**答弁**…3期12年の期間の中では幾つかの項目は当初のマニフェストから変更したものもありますが、一度マニフェストに掲げたものを変えてはならないとなると市政運営の硬直化を招くおそれがあることから、必要なも

のは残り一定の役割を果たしたものは社会情勢の変化や時々の出来事に対応するため、変更や終了も含め、見直しを行いながら市政運営を行ってきた結果です。しかし、このマニフェストの志は就任当初と何ら変わるものではなく、令和4年度を初年度とする総合計画、おおたわら国造りプランの後期計画にもその志をまちづくりの基本方針と

して反映しました。令和4年度予算はこの総合計画に折り込んだ各事業の経費をまとめた実施計画を基本に予算編成を行っていることから、この予算は私のマニフェストを具現化したものです。今後も公正、公平、公明の基本姿勢を貫き、市民の皆様、議員の皆様方のご協力をいただき、誠心誠意市政発展のために取り組んでまいります。

一般質問



高瀬 重嗣 議員

親園地区の将来像について

**質問**…親園佐久山バイパスの整備促進と市道親園佐久山線の親園中学校付近の拡幅改良は総合的に行われるべきだと考えるが市の考えを伺います。

**答弁**…沿線の花園地区は、公園と現況の不一致区域があります。この問題解消のために、現在国の交付金を活用した地籍調査事業を計画しています。議員指摘のとおり総合的に行うべきであ

り、両事業の進捗状況を確認しながら、親園中学校付近の道路整備計画を策定していきます。

**質問**…整備完了が待たれる市道加治屋親園線については、親園鴨内川地区圃場整備事業と関連し、整備すべきだと考えるが市の考えを伺います。

**答弁**…総合的に判断して、圃場整備事業区域には編入せず事業化を図る方針です。本路線は、

親園地区から加治屋を経て野崎地区や那須塩原市西那須野地区に通ずる路線として通勤、通学時間帯の交通量が多く、居住環境が整わないまま宅地化が進んでいる箇所と認識をしています。現在、一部用地の協力が得られず事業を休止しているが、再度地権者の意向を確認し、再開が見込めたら国からの交付金事業の導入も模索をしていきます。